

【協議事項】

協議題	ゲーム依存の未然防止等に係る児童生徒アンケート実施に係る家庭への啓発の内容について
提案説明	<p>近年、子どもを取り巻くインターネットの健全な活用について様々な課題が取りあげられている中、とりわけ長時間にわたるゲーム機器の使用や、学習目的以外のユーチューブ視聴等により家庭生活が乱れ、学校生活での生活リズムや生徒指導上の問題行動等に影響を及ぼすケースが増加している。</p> <p>学校においては、情報モラル教育の実施や、ゲーム依存傾向にある不登校傾向児童生徒の指導を行い、地域においては、中学校区単位で開催する青少年健全育成会議においてゲーム依存の正しい理解と啓発を行っているところである。</p> <p>そこで、ゲーム依存の未然防止につなげるための児童生徒アンケートを実施することにより、インターネットの健全な活用に対する自己調整能力を育むことを目的として実施する。</p> <p>本課題は全市的な課題であることから、西脇市青少年問題協議会からの発信とし、主に、家庭への啓発内容について、本協議会各委員の多様な視点をからの意見を集約し、保護者に対して啓発を行う。</p>
参考	<p>○アンケート項目</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 現実にはない快適さ・居場所感 (2) ストレス対処としての依存 (3) ゲーム内での人間関係の不安・とらわれ (4) ゲームに対する完全主義 (5) ゲームの世界への没入 <p>○各校生徒指導担当者のアンケート事後の指導に活用する啓発内容（保護者向け手引き内容）の考え。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なゲーム名を掲載し、各ゲームの特性による発生しやすい依存例と対処法を明記したい。 ・Q&A形式が望ましい。 ・依存傾向と判断された児童生徒に対して、具体的な手立て（そこから抜け出す対処方法等）が示されているものであれば活用しやすい。 ・学校の指導でできることと、家庭が行うべきことを明確にする。